

1 単元名 「比例と反比例」

2 単元について

本単元で扱う比例と反比例は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

**A 数と計算**

**A(2) 文字を用いた式**

(2) 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 数量を表す言葉や□、△などの代わりに、 $\alpha$ 、 $x$ などの文字を用いて式に表したり、文字に数字を当てはめて調べたりすること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。

**C 変化と関係 C(1) 比例**

(1) 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 比例の関係の意味や性質を理解すること。

(イ) 比例の関係を用いた問題解決の方法について知ること。

(ウ) 反比例の関係について知ること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすこと。

(1) 単元観

本単元では比例と反比例について学習する。第 5 学年では、表を横に見ながら関係に着目し、「二つの量□と○があり、□が 2 倍、3 倍…となると、それに伴って○も 2 倍、3 倍…となると、『○は□に比例する』という」と比例を定義し、用語「比例」を学習した。

第 6 学年では、比例の意味や性質、比例の利用、さらに反比例について知るとともに、日常生活において、伴って変わる二つの数量を見だし、目的に応じて数学的表現を活用し、問題を解決する力を伸ばしていくことをねらいとしている。比例の意味については、5 年生の学習に加え小数倍、単位分数倍へと見方を拡張し、□や○などの記号を用いていたところを  $x$  などの文字を用いて表し、数量を入れて調べるなどの活動を通して一般化させる。

また、関数の考えに繋げるためにも、表を縦に見て、「二つの数量の対応している値の商に着目すると、どこも一定になっている」という対応の見方も指導する。

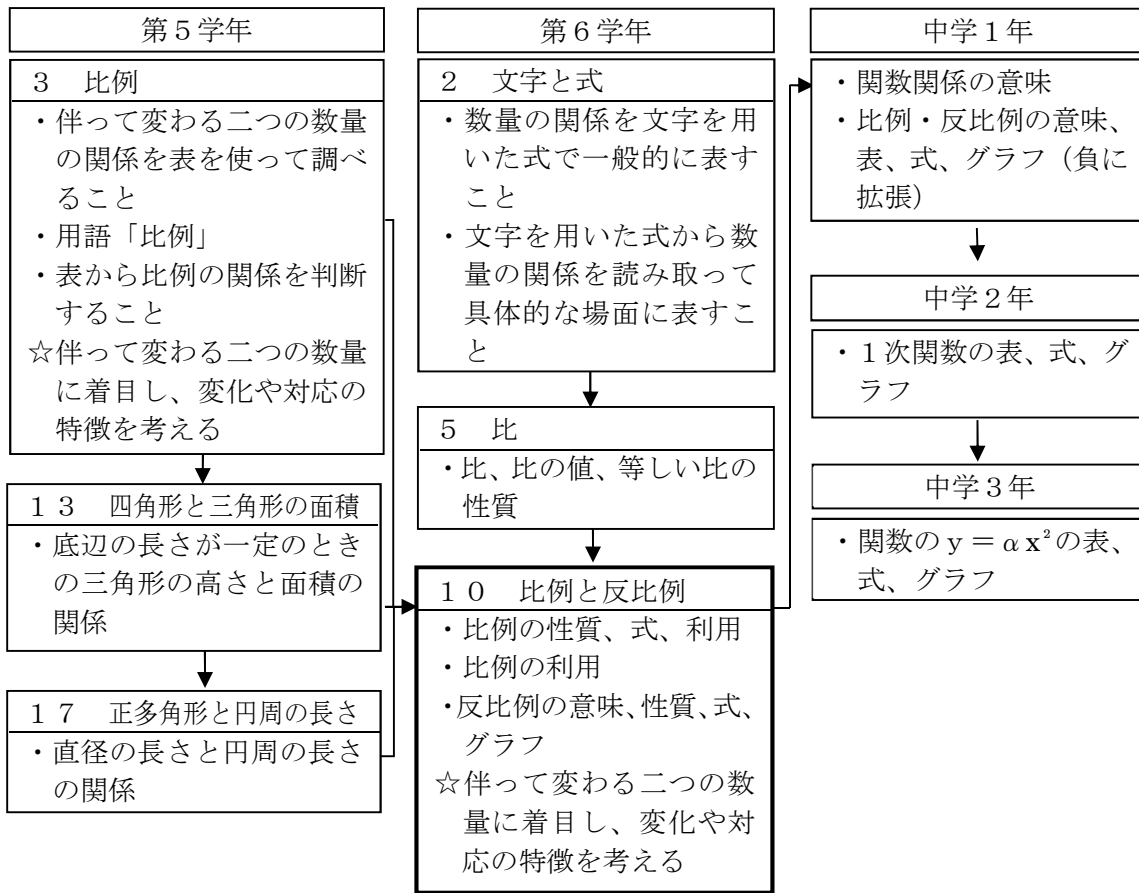
比例の関係を用いて問題を解決する上で、目的に応じて、表、式、グラフを用いて関係を表現することでそれぞれの数学的表現の特徴や良さに気付かせたい。

そして、比例の関係を用いて、身近な問題を解決していくことで日常生活や算数の学習などの場面で、効率の良い処理の仕方を求めて、積極的に比例の関係を生かしていこうとする態度を養っていく。

反比例の学習では、定義と性質、式、グラフを理解し、比例と比較することでさらに比例と反比例の理解を深めたい。

中学校では、一次関数の学習がある。したがって小学校の段階で比例関係のまとめをするとともに、中学校の関数指導の素地を培うことが必要と考えている。

系統



(2) 児童の実態 (男子17名 女子16名 計33名)

学習では自分なりに真面目に取り組もうとする意欲的な児童が多い。しかし、基礎的な計算技能や問題文の内容理解が低いため、問題が解けず、算数に苦手意識をもっている。昨年度は、問題文の内容をよく考えず、二つの数字を登場する順序通りに立式していた児童が多かった。そのため、数直線の良さや、活用の仕方考える機会を意識的に増やしたことで、正確な立式ができるようになってきた。また、数直線を活用して、立式の意味を説明できる児童が増えてきた。このことは、レディネステストの結果からもうかがえる。

今年度は、数量関係において、数直線だけでなく、問題にあった説明の仕方考えさせることに重点を置いた。そのため、昨年につき、立式の意味を説明させたり、様々な単元で適用問題に取り組ませたりしてきた。

・算数アンケート結果

	A	B	C	D	A+B			
					6年1組	6年生	千葉県	
	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない				全国
(1)算数は好きですか。							64.8	68.6
(2)算数の勉強は大切だ。							92.2	93.7

(3)算数の授業はよく分かる。							80.4	81.9
(4)算数の授業で学習したことは、大人になった時に役に立つ。							91.4	92.5
(5)算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で使うことができないか考える。							75.5	76.5
(6)算数の授業で新しい問題に出合った時、それを解いてみたいと思う。							76.7	79.1
(7)算数の問題の解き方が分からない時は、諦めずに色々な方法がないか考える。							79.6	82.0
(8)算数の授業で問題を解く時、もっと簡単に解く方法がないか考える。							80.9	82.1
(9)算数の授業で公式やきまりを習う時、そのわけを理解するようにしている。							82.9	84.0
(10)算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。							85.1	87.1

・レディネステストの結果（9月24日 33名実施）

問題番号 (出典)	問題のねらい		正答した児童数	調査実施当時の 6学年児童正答率
① (H29 <sup>1</sup> )	・具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。	2 m	人( %)	%
		3 m	人( %)	
② (H22A <sup>2</sup> )	・商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、除法が用いられることを理解している。	式	人( %)	%
		答え	人( %)	
③ (H30 <sup>1</sup> )	・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。 ・数直線を使って問題を解くことができる。	0.2m	人( %)	%
		0.1m	人( %)	%
		数直線	人( %)	
④ (H30 <sup>7</sup> )	・直径の長さと言周の長さの関係について理解している。		人( %)	%

・レディネステストの考察

レディネステストでは、③の一部を除いて全ての問題で全国平均を上回った。このような結果になったのは、週末プリント等、日頃から文章問題に取り組んできたことが要因と考えられる。それぞれの問題を見てみると、①の乗法で表すことのできる二つの数量の関係については理解できていることが分かった。②の問題については、5年生のときから数直線を活用して立式することに取り組んできたため、全国の平均を上回ることができたと考えられる。しかし、全体的に見ると、まだ数直線を活用できず、問題の雰囲気から立式してしまう児童もいる。③の問題については、数直線で表すことができた児童は一つ目の単純な計算の問題は解くことができていた。しかし、小数に関する理解が低いため、3割の児童は問題の内容が分からず、解くことができなかった。また、④の直径の長ささと円周の長さの関係については、現在、円の面積の単元を学習しているため、正答率が高かったのではないかと予想できる。このことから後日取り組んだ際、同じように解けるかについては未知数である。

この結果から、数直線を活用してきたことで数的感覚を養うことができた児童が多いことが分かったので、引き続き数直線を活用していきたい。また、小数や分数、千以上の整数の問題になると正答率が低くなる傾向があるため、様々な数字に触れていくと同時に、電卓などを活用し苦手意識を無くしていきたい。

レディネステスト

## 「比例と反比例」

6年 組 番 名前

次の問題に答えましょう。

① 1 mあたりのねだんが60円のリボンが2 m買ったときの代金はいくらですか。また、3 m買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

2 mの代金

3 mの代金

② 8 mの重さが4 k gの棒があります。この棒の1 mの重さは何k gですか。求める式と答えを書きましょう。

式

答え

③ 0.4 mの重さが60 gの針金があります。針金0.2 mの重さは何gですか。また、針金0.1 mの重さは何gですか。それぞれ答えを数直線を使って解きましょう。

0

0

0.2 mの重さ

0.1 mの重さ

④ 円があります。この円の直径の長さを2倍にします。このとき、直径の長さを2倍にした円の円周の長さは、もとの円の円周の長さの何倍になりますか。

(3) 指導観

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
①② 比例の性質について理解する力	⑧ 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの比例の関係に着目し、表や式、数直線を用いて説明する力	① 比例の関係に興味をもち、その性質を調べようとする力
③④ 比例の関係を式に表す力	⑫ 反比例する二つの量の関係について、比例の関係を基に、表などを用いて調べる力	④ 比例の関係に興味をもち、その関係を式に表そうとする力
⑤⑥⑦ 比例の關係のグラフの特徴を理解し、グラフに表す力	⑮ 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理する力	⑨ 比例の關係に着目する良さに気づき、比例の關係を生活に生かそうとする力
⑨⑩ 基本的な問題を解決する力		⑪ 二つの量の変わり方に興味をもち、表を使ってその關係を調べようとする力
⑪⑫ 反比例の性質について理解する力		⑬ 反比例の關係に興味をもち、その關係を式に生かそうとする力
⑬ 反比例の關係を式に表すことができる力		
⑭ 反比例の關係をグラフに表し、読み取る力		
⑮ 基本的な問題を解決する力		

### 3 単元の目標

- (1) 比例や反比例の意味や性質、表やグラフの特徴について理解し、比例や反比例の関係にある二つの数量の関係を表や式、グラフに表したり、比例の関係をを用いて問題解決したりすることができる。【知識及び技能】
- (2) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して変化や対応の特徴を見いだして問題解決に活用している。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえて検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。【学びに向かう力、人間性等】

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① <math>y</math> が <math>x</math> に比例しているとき、<math>x</math> の値が <math>1/2</math> 倍、<math>1/3</math> 倍、…になると、それに伴って <math>y</math> の値も <math>1/2</math> 倍、<math>1/3</math> 倍、…になることを理解している。</p> <p>② <math>y</math> が <math>x</math> に比例するとき、<math>x</math> の値が <math>\square</math> 倍になると、それに伴って <math>y</math> の値も同じ <math>\square</math> 倍になることを理解している。</p> <p>③④ <math>y</math> が <math>x</math> に比例するとき、<math>y = \text{決まった数} \times x</math> と表せることを理解し、比例の関係を式に表すことができる。</p> <p>⑤⑥ 比例のグラフは原点を通る直線になることを理解し、比例の関係をグラフに表したり、グラフから読み取ったりすることができる。</p> <p>⑦ 傾きの異なる 2 本の比例のグラフから、それぞれの特徴や事象の様子などを読み取ることができる。</p> <p>⑨ 比例の関係をを用いた問題解決の方法を理解している。</p> <p>⑩ 基本的な問題を解決することができる。</p> <p>⑪ 反比例の意味を理解している。</p> <p>⑫ <math>y</math> が <math>x</math> に反比例しているとき、<math>x</math> の値が <math>1/2</math> 倍、<math>1/3</math> 倍、…になると、それに伴って <math>y</math> の値は 2 倍、3 倍、…になることを理解している。</p> <p>⑬ <math>y</math> が <math>x</math> に反比例するとき、<math>y = \text{決まった数} \div x</math> と表せることを理解し、反比例の関係を式に表すことができる。</p> <p>⑭ 反比例のグラフの特徴を理解し、反比例の関係をグラフに表したり、グラフから読み取ったりすることができる。</p> <p>⑮ 基本的な問題を解決することができる。</p>	<p>⑧ 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだして問題解決に活用している。</p> <p>⑫ 反比例する二つの量の関係について、比例の関係を基に、表などを用いて調べている。</p> <p>⑮ 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。</p>	<p>① 比例の関係に興味をもち、その性質を調べようとしている。</p> <p>④ 比例の関係に興味をもち、その関係を式に表そうとしている。</p> <p>⑨ 比例の関係に着目するよさに気づき、比例の関係を生活や学習に活用しようとしている。</p> <p>⑪ 二つの量の変わり方に興味をもち、表を使ってその関係を調べようとしている。</p> <p>⑬ 反比例の関係に興味をもち、その関係を式に表そうとしている。</p>

## 5 指導と評価の計画 (15 時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
		知識・技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に 取り組む態度
比例 の 性質	1	○比例の性質について理解する。 ・比例する二つの量の関係には、どんな性質があるか調べる。 ・ $y$ が $x$ に比例しているとき、 $x$ の値が $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、…になると、それにもなって $y$ の値も $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、…になることに気付く。	・知① (ノート分析)	・態① (活動観察、 ノート分析)
	2	○比例の性質について理解を深め、まとめる。 ・比例する二つの量の関係には、どんな性質があるか調べる。 ・ $y$ が $x$ に比例しているとき、 $x$ の値が□倍になると、それにもなって $y$ の値も□倍になること気付く。	・知② (ノート分析)	
比例 の 式	3	○ $y$ が $x$ に比例するとき、 $y=決まった数 \times x$ と表せることを理解し、比例の関係を式に表すことができる。① ・比例の関係を、式に表す方法を考える。 ・ $y$ を $x$ でわった商はどうなるかを調べる。 ・ $y$ が $x$ に比例するとき、 $y$ を $x$ でわった商は一定で、その関係を一般的な形の式に表す。	・知③ (ノート分析)	
	4	○ $y$ が $x$ に比例するとき、 $y=決まった数 \times x$ と表せることを理解し、比例の関係を式に表すことができる。② ・水を入れる時間を5分に決めたとき、1分当たりに入る水の深さと水槽の水の深さの関係を調べる。	・知④ (ノート分析)	・態④ (活動観察、 ノート分析)
比例 の グラフ	5	○比例の関係をグラフに表して考察することができ、比例のグラフの特徴を理解する。① ・水槽の水の深さが水を入れる時間に比例する関係をグラフに表して、その特徴を調べる。 ・式から求めた2量の組み合わせをグラフに表す。 ・比例のグラフは原点を通る直線となることをまとめる。 ・比例のグラフから、 $x$ や $y$ の値を読み取る。	・知⑤ (ノート分析)	
	6	○比例の関係をグラフに表して考察することができ、比例のグラフの特徴を理解する。② ・道のりは時間に比例する問題で、グラフに表して、道のりを求めたり、時間を求めたりする。	・知⑥ (ノート分析)	
	7	○比例のグラフを考察することを通して、比例のグラフについて理解を深める。 ・2本の比例のグラフから、①～④のことを読み取る。	・知⑦ (ノート分析)	
比例 の 利用	8 本 時	○比例の関係を活用した問題解決の方法を考え、表や式を用いて説明することができる。① ・画用紙300枚を、全部数えないで用意する方法を考える。 ・画用紙の重さは枚数に比例することを使って、問題を解決する。		○思⑧ (活動観察、 ノート分析)
	9	○比例の関係を活用した問題解決の方法を考え、表や式を用いて説明することができる。② ・速さを一定と考えた場合、道のりは時間に比例することを使って、東京を出発後、新幹線が新富士駅を通過するまでに何分かかかるかを考える。 ・比例の関係をを使って問題を解決する。	・知⑨ (ノート分析)	・態⑨ (活動観察、 ノート分析)

	10	○学習内容を適用して問題を解決する。 ・「力をつける問題」に取り組む。	・知⑩ (ノート分析)		
反比例	11	○反比例の意味について理解する。 ・伴って変わるいろいろな二つの数量の変わり方を調べる。 ・「反比例」の意味を知る。	・知⑪ (ノート分析)		・態⑪ (活動観察、ノート分析)
	12	○反比例の性質について理解する。 ・反比例する二つの量の関係には、どんな性質があるか調べる。 ・ $y$ が $x$ に反比例しているとき、 $x$ の値が $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、…になると、それにもなつて $y$ の値は $2$ 倍、 $3$ 倍、…になることをまとめる。	・知⑫ (ノート分析)	・思⑫ (活動観察、ノート分析)	
	13	○ $y$ が $x$ に反比例するとき、 $y=決まった数 \div x$ と表せることを理解し、反比例の関係を式に表すことができる。 ・反比例の関係を式に表す方法を考える。 ・ $y$ が $x$ に反比例するとき、 $x$ と $y$ の積は一定で、その関係を一般的な形の式に表す。	・知⑬ (ノート分析)		・態⑬ (活動観察、ノート分析)
	14	○反比例の関係をグラフに表して考察することができ、反比例のグラフの特徴を理解する。 ・反比例する関係をグラフに表して、その特徴を調べる。	・知⑭ (ノート分析)		
まとめ	15	○学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値付ける。 ・「たしかめよう」に取り組む。 ・「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	・知⑮ (ノート分析)	・思⑮ (ノート分析)	

## 6 本時の指導 (8 / 15)

### (1) 本時の目標

- ・ 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだして問題解決に活用している。  
【思考力、判断力、表現力等】

### (2) 展開

過程	学習内容と学習活動	○指導・支援 ◇評価	資料
見 い だ す 8 分	1. 素材を知る。  1年生にパンフレットを作るために使う画用紙300枚を、全部数えないで用意する方法を考えましょう。		問題シート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決まった枚数の重さを量り、何倍かして300枚の重さを求める。</li> <li>・ 決まった枚数の高さを測り、何倍かして300枚の高さを求める。</li> <li>・ 1枚の重さを量って、300倍する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○式を出させるのではなく、方法を出させる。</li> <li>○実際の画用紙を提示し、関心を持たせる。</li> <li>○児童にとって問題を身近にすることで、解決の必要感を持たせる。</li> <li>○重さと高さ、それぞれの考えを認めた上で、重さに注目するよう促す。</li> <li>○実際に画用紙10枚分の重さを量り、全体で確認する。(1枚では軽すぎるため、量れないことを伝える。)</li> </ul>	画用紙  電子天秤
自 分 で 取 り 組 む 6 分	2. 学習問題をつくる。  数えずに用意するには、どうすれば良いだろうか。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 自分の考えをノートに書く。</li> <li>・ 10枚から1枚分の重さを求めて、300倍する。</li> <li>・ 枚数と重さの比例の関係から、決まった数を求める。</li> <li>・ 枚数が30倍になるとき、重さも30倍になるので、10枚の重さを30倍する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字、図、式、表、数直線などを活用し、ノートに考えを書かせる。必ず何かを書くよう声をかける。</li> <li>○方法が書けた児童には、その方法を分かりやすく伝える準備をさせる。</li> <li>○一つの方法を考え終えた児童には、別の方法がないか考えるよう促す。</li> <li>○見通しが立たない児童にはワークシートを渡し、今まで学習してきた数直線を基に考えるよう促す。</li> </ul>	

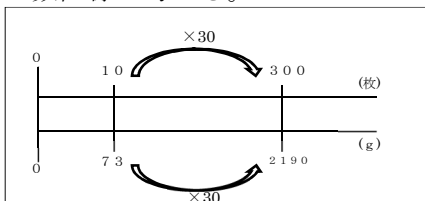


広  
げ  
深  
め  
る  
20  
分

4. 自分の考えを班の友達と共有する。

5. 解決方法を発表し合う。

・数直線で考える。



・10枚から1枚分の重さを求めて、300倍する。

枚数 x (枚)	1	10	300
重さ y (g)	7.3	73	□

$$73 \div 10 = 7.3$$

$$7.3 \times 300 = 2190$$

・枚数が30倍になるとき、重さも30倍になるので、10枚の重さを30倍する。

枚数 x (枚)	10	300
重さ y (g)	73	□

$$300 \div 10 = 30$$

$$73 \times 30 = 2190$$

・枚数と重さの比例の関係から決まった数を求める。

枚数 x (枚)	10	300
重さ y (g)	73	□

$$73 \div 10 = 7.3$$

$$y = 7.3 \times x$$

$$y = 7.3 \times 300$$

$$y = 2190$$

- ノートを活用しながら、自分の考えを説明する。
- 共有する上で違う考えを見付けた場合は、ノートに友達の考えとしてかいておく。
- 考えがまとまっていない児童は、ただ教えてもらうのではなく、分からないところを質問する。

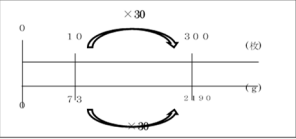
- それぞれの考え方を発表させる。その際、説明のさせ方を工夫し、(友達の式の意味を読み取ったり、途中で説明を交代させたりする)全員で考えが深められるようにする。
- 自分の考えと友達の考えを比べながら聞かせる。
- 発表を聞く上で違う考えを見つけた場合は、ノートに友達の考えとして書かせる。
- 答えまでしっかり説明させる。どうして300枚の重さを求める必要があるのかなど。

◇「伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだして問題解決に活用している。【思考・判断・表現】<発表・ノート>

ホワイト  
ボード

	<p>6. 考えの共通点に気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• どの考えも、比例の関係だと仮定して考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの考えも、比例の関係だと仮定して考えていることに気付かせる。</li> </ul>	
<p>まとめあげる 11分</p>	<p>7. 適用問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教科書 P149 の㊸を解く。</li> </ul> <p>7. 学習のまとめ、振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの考えを使っても良いことを伝える。</li> <li>○解けた児童には、自分の考えが『はかせどん』の考えかどうかを検討させる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>数えずに用意するには、比例すると考えて、求めれば良い。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まとめと振り返りをノートに文章で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の言葉を生かしながらまとめていくようにする。</li> <li>○本時に学んだこと、自分で考えたり、友達のを聞いたりして感じたこと、どんな場面で生かせるか振り返るよう助言する。</li> </ul>	

(3) 板書計画

学	数えずに用意するには、どうすれば良いだろうか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">枚数 x (枚)</td> <td style="width: 25%;">1</td> <td style="width: 25%;">10</td> <td style="width: 25%;">300</td> </tr> <tr> <td>重さ y (g)</td> <td>7.3</td> <td>73</td> <td>□</td> </tr> </table> <p>73 ÷ 10 = 7.3 7.3 × 300 = 2190</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10枚から1枚分の重さを求めて、300倍する。</li> </ul>	枚数 x (枚)	1	10	300	重さ y (g)	7.3	73	□	<p><b>【共通点】</b> ☆どの考えも比例を使っている。 ☆どの考えも、比例の関係だと仮定して考えている。 ☆表を使うと数直線より早く簡単に考えることができる。</p>
枚数 x (枚)	1	10	300								
重さ y (g)	7.3	73	□								
問	1年生にパンフレットを作るために使う画用紙300枚を、全部数えないで用意する方法を考えましょう。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">枚数 x (枚)</td> <td style="width: 25%;">10</td> <td style="width: 25%;">300</td> </tr> <tr> <td>重さ y (g)</td> <td>73</td> <td>□</td> </tr> </table> <p>300 ÷ 10 = 30 73 × 30 = 2190</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>枚数が30倍になるとき、重さも30倍になるので、10枚の重さを30倍する。</li> </ul>	枚数 x (枚)	10	300	重さ y (g)	73	□	教科書 P149 の⑧の問題		
枚数 x (枚)	10	300									
重さ y (g)	73	□									
	<p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>決まった枚数の重さを量り、何倍かして300枚の重さを求める。</li> <li>決まった枚数の高さを測り、何倍かして300枚の高さを求める。 ⇒高さが低すぎて測ることができない。</li> <li>1枚の重さを量って、300倍する。 ⇒重さが軽すぎて量ることができない。</li> </ul> <p><b>【数直線】</b></p> 	<p style="text-align: center;">ま</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">数えずに用意するには、比例すると考えて、求めれば良い。</div> <p style="text-align: center;">振</p>									

問題シート

1年生にパンフレットを作るために使う画用紙300枚を、  
全部数えないで用意する方法を考えましょう。

